

笑顔と元気あふれる 住みよいまち田布施

たぶせ



THE TABUSE ASSEMBLY NEWS

議会だより

第163号

題字は岸 信介先生書 2024年(令和6年) 10月25日



田んぼアート(TABUSE 69)

9月定例会	2P
決算審査特別委員会	5P
8人の議員が町政を問う	8P
議会だより162号を読んでの感想	16P
研修報告	17P
議員リレー随筆・発見!クイズたぶせ	18P



▲携帯で簡単に議会の
ホームページに
アクセスできます

ホームページの
「議会だより」は、
表紙がカラーとな
ります。

5年度決算認定・6年度補正予算可決

9月定例会

一般会計 2億4,927万円増額

予防接種委託料の増 7月豪雨に伴う災害復旧

麻里府公民館新築工事(建築・機械設備)請負契約の締結



本 会 議 (9月9日)

令和5年度町諸会計決算の概要

(1) 一般会計及び特別会計

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引
一般会計		74億7,985万円	72億6,556万円	2億1,429万円
特別会計	国民健康保険	16億8,030万円	16億5,730万円	2,300万円
	介護保険	16億978万円	15億8,687万円	2,291万円
	後期高齢者医療	3億1,819万円	3億1,813万円	6万円
	計	36億827万円	35億6,230万円	4,597万円

(2) 公営企業会計

下水道事業		収 入	支 出	差 引
収 益 的 収 支		5億4,430万円	4億5,544万円	8,886万円
資 本 的 収 支		3億3,096万円	5億5,770万円	▲2億2,674万円

※資本的収支の不足額は損益勘定留保資金等で補填しました。

令和6年9月定例会は9月9日から12日間の日程で開かれました。本定例会では、町長報告3件のほか町長提出議案の決算2件、補正予算2件、条例3件、契約3件、人事2件及びその他3件を審議しました。

また、9日と10日の本会議では、8人の議員が一般質問に登壇しました。

なお、記載のQ&A(質疑&答弁)は決算については決算審査特別委員会(P6)に、他の議案については付託した所管の常任委員会のQ&Aも含めて掲載しています。

町長報告

○令和5年度基金運用状況

○令和5年度決算に係る健全化判断比率

○令和5年度決算に係る公営企業の資金不足比率

町長提出議案

令和5年度決算

●歳入歳出決算

○一般会計

歳入総額は74億7,985万円で、歳出総額は72億6,556万円。歳入から歳出を差し引いた形式収支は、2億1,429万円の黒字で形式収支から翌年度に繰り越すべき財源4,069万円を差し引いた実質収支は1億7,360万円になりました。

○特別会計

国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療3会計の歳入総額は36億8,277万円で、歳出総額は35億6,230万円。

230万円。歳入から歳出を差し引いた形式収支及び実質収支は45,977万円になりました。

●下水道事業会計決算

【全員賛成】

収益的収入は5億4,430万円で、収益的支出は4億5,544万円。収支差引は、888万円の黒字となりました。

資本的収入は3億3,096万円で、資本的支出は5億5,770万円。収支差引は、2億2,674万円の不足となりましたので、損益勘定留保資金等で補填しました。

【全員賛成】

令和6年度補正予算

●一般会計(第3号)

2億4,927万円を増額補正し、予算総額は77億6,323万円。

《主な歳入補正》

・地方交付税 11,322万円減
・国庫支出金 5,877万円増
・児童手当の拡充に対する子ども・子育て支援事業費補助金など
・県支出金 15,367万円増
・7月豪雨災害に対する農林水産施設災害復旧費

補助金など

・繰越金 1億6360万円増
・諸収入 2958万円増

・新型コロナウイルスの価格上昇分を国が基金管理団体を通じて助成する新型コロナウイルス定期接種ワクチン確保事業助成金

・町債

3910万円増
災害に備えた町有地の整備や麻里府地区における防災広場の整備に対し、防災拠点施設等整備事業債を活用

《主な歳出補正》

・総務費 1億5467万円増
災害時に移動型宿泊施設等を活用するための町有地の整備や麻里府地区における防災広場の整備に伴う測量設計、法令に基づく繰越金の一部の財政基金への積み立てなど

・民生費

1044万円増
療養給付費前年度精算負担金や児童クラブ運営費における前年度補助金返還金など

・衛生費

3419万円増
新型コロナウイルスの価格上昇に伴う予防接種委託料の増

・農林水産業費

1475万円増

新規就農者等による施設の改修経費を補助する地域農業資源リノベーション事業など

・土木費

953万円増
民間宅地開発支援事業費の増など

・教育費

620万円増
西田布施公民館の消防設備の更新など

・災害復旧費

1707万円増
7月豪雨等に伴う農林水産施設災害復旧事業費

おもな質疑

Q 麻里府地区防災広場予定地は、土地が国道より低い。埋め立て等して高上げするのか。

A 国道の高さまで造成予定。

Q 麻里府地区の町道が狭いため車の退避場として利用する取得地は、町道より土地の高さが高い。削るなどして高さを合せるのか。

A いつ整備するかは未定。漁港の波止場線の拡幅等と併せて検討する。今秋開催の自治会意見交換会で説明をする。

Q 災害時に移動式宿泊施設（レスキューホテル）を設置するため、中央南町有地を舗装することだが、平時にもホテルとして利用できるのか。

A 災害時に使用するためのもの

のであり、岩国市に30台程度ストックしてある。災害時に優先的に持つてくる。

Q 電気やトイレはどうか。

A トイレはレスキューホテルにある。電気は電力会社と協議する。

Q 最大で何人、何台収容可能か。

A レスキューホテル1台に何人収容できるかは確認していない。駐車場には30〜40台は入る。



レスキューホテル

Q 新麻里府公民館の造成工事は当初9月末に完了するとなつたが、工事看板には10月末となっている。

A 契約工期は10月末としている。当初は9月末の完成を見込んでいたが雨等により遅れている。

Q 造成土に多くの水分が含まれていることからセメント改良を行うとある。改良箇所以外にもセンドンの木のところや土の柔らかい箇所がある。問題ないか。

A 土の柔らかい箇所は検討し

ている。センドンの木のところは水が出ているが問題ない。

Q 突貫工事とならぬよう10月末までに完成をお願いする。変更があった場合は回覧で周知を。

A 変更があれば回覧する。建設工事は施工業者が決定しているので予定どおり着手する。

Q 防草コンクリートのところは、県有地と民地が混在している。問題ないか。

A 問題ない。

Q 住宅・建築物耐震化促進事業の件数、金額は。

A 6戸相談を受けている。1戸あたり7万4000円を見込む。

Q 民間宅地開発支援事業について。申請の状況は。

A 現在4区画分申請があり、今後8区画分申請が提出される予定。

Q 民間宅地開発の支援事業者は何社か。

A 1社申込済。2社相談中であり、3社を見込んでいる。

Q 宅地が増えることに加え、人が増えることが重要。しっかりと精査を。

A 精査する。

Q 乗合タクシー、車両メーカーの生産販売台数減少により、車両の納期が不確実に

なっているため、競争入札による調達には困難ということ

で、実証実験を行う事業者に車の調達を依頼するということが、調達は問題なくできるのか。

A 車を探す範囲が広がるため事業者者に依頼をしたが、新車についてはどこも同じ状況のため、中古車で探した。当初購入予定だった車種で、1年落ちの車を抑えている状況。年内には納車予定。

Q 中古車と新車の差額は。

A 1台あたり50万円程度安い。

Q コロナワクチン接種事業について詳細は。

A ワクチン薬価が1回につき8300円増加した。接種者見込数は、近隣市町と同様に昨年度のインフルエンザ予防接種数を参考とした。

Q のんびらんど・うましま整備工事でキャンプ場と海水浴場のトイレを

洋式化してバリアフリーにするのか。



A 洋式化に併せて、トイレが狭いため、壁の改修も行う。

Q 地域農業資源リノベーション事業とは。

【A】ビニールハウス等の遊休施設を活用して営農をしたいという方とマッチングさせる事業。大波野中の法人がアスパラガスの施設園芸を止めるため、アスパラガスを経営している隣の木地の法人が、追加増設して活用する。

【Q】スクールバスを売却したが、売却方法と購入者は。

【A】3台の内、1台が老朽化した為、「三菱ふそう」に売却した。

【全員賛成】

●特別会計

○介護保険(第1号)

前年度精算とそれに伴う介護給付費準備基金の調整で2793万円を増額し、総額は16億5357万円とするもの。

【全員賛成】

条 例

○町議会議員及び町長の選挙

における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

町議会議員及び町長選挙における選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成及び選挙運動用ポスターの作成に係る費用の公費負担額を、物価上昇等

を鑑み、改定するもの。

【全員賛成】

おもな質疑

【Q】直近で選挙がある周防大島町は改定しているか。また、改定金額は妥当か。

【A】近隣市町を確認し同程度である。

○国民健康保険条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の制定等に伴い、本年12月2日から被保険者証がマイナ保険証に統一されることから、第11条中の被保険者証に係る部分を削るもの。

【全員賛成】

契 約

○麻里府公民館新築工事(建築・機械設備)における工事請負契約の締結

津波や高潮の浸水想定区域内にある老朽化した麻里府公民館を現在地より安全な場所に新築し、地区の防災拠点やコミュニティ機能を備えた施設として整備するもの。

おもな質疑

【Q】入札の落札価格は、当初の見込よりいくら落ちたのか。

【A】建築で3770万円減。機械設備で145万円減。

【Q】入札には何社参加したか。

【A】建築に2社。機械設備に2社。

【全員賛成】

【B & G海洋センター(スポーツセンター第1体育館)大規模改修工事(建築)の変更

契約の金額4696万円を5481万円に変更するもの。

【全員賛成】

人 事

○教育委員会委員の任命

委員の任期満了に伴い、石田清実氏を再任するもの。任期は令和6年10月1日から4年間。

○人権擁護委員の推薦

委員の任期満了に伴い、岩本宏司氏を再任するもの。任期は令和7年1月1日から3年間。

その他

○字の区域の変更

国営南周防土地改良事業

「宿井換地区」の換地処分に伴う字の変更。

【全員賛成】

○田布施・平生水道企業団規約の変更

柳井地域の全ての水道事業を柳井地域広域水道企業団へ経営統合することに伴い、田布施・平生水道企業団が解散した場合に承継事務等が円滑に行えるように、事務の承継等に関する規定を定めるための規約の改正。

【全員賛成】

○柳井地域広域水道企業団の共同処理する事務の変更及び規約の変更

令和7年4月1日から、柳井地域の全ての水道事業を柳井地域広域水道企業団へ経営統合することに伴う規約の改正。

【全員賛成】

陳 情

○上関町での「中間貯蔵施設」の建設に反対する決議の採択をお願いする陳情書

【継続審査】

○上関町での「中間貯蔵施設」の建設の反対をお願いする陳情書

【継続審査】

議会を傍聴してみませんか

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。身近な町政を知るため、また、議員の活動や町議会の様子を知らするためにも、議会を傍聴してみませんか。

12月定例会の日程(予定)

11日	本会議(初日)
12日	本会議(2日目)
13日	経済厚生委員会
17日	総務文教委員会
19日	本会議(最終日)

※いずれも午前9時から。

一般質問は11日、12日に行う予定です。定例会の正式な日程は、12月5日の議会運営委員会で決定されます。日程の変更は、町HPでお知らせします。

【問合せ先】

議会事務局

☎5215800

決算審査特別委員会

令和5年度決算



決算審査特別委員会（9月11日）

保健センター整備事業 低所得世帯に対する給付金事業

2億3,715万円
2億3,620万円

「令和5年度田布施町歳入歳出決算の認定」については決算審査特別委員会を設置し、9月11日に委員会を開き、慎重に審査しました。審査の結果、全員賛成で認定されました。

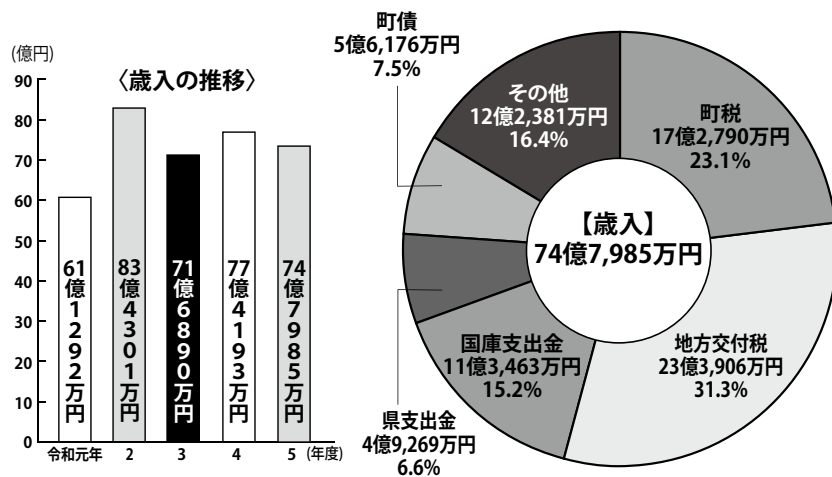
令和5年度田布施町一般会計決算の概要

歳入

町税の徴収率は98.7%で、前年度比0.3ポイント上昇。不納欠損額は394万円。収入未済額は1,831万円で、前年度比で459万円減少した。

税外収入は、収入済額57億5,195万円と、前年度比2億3,412万円減少した。これは、国庫支出金が2億668万円減少したこと、町債が1億7,337万円減少したことが主な要因である。

（監査委員による審査意見書より）

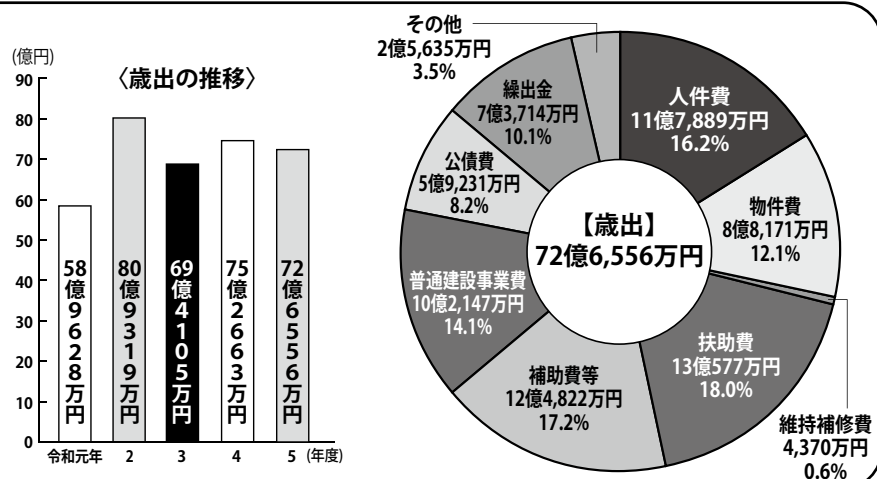


歳出

支出済額は75億6,556万円で、前年度に比べ3.5%減少している。

その主な要因は、教育費の城南小学校大規模改修事業費の皆減、及び公債費の利子償還金の低減のための借換債の皆減によるものである。

（監査委員による審査意見書より）



財政構造の弾力化

- (1) 経常収支比率 90.6% (3.5ポイント上昇)
- (2) 実質公債費比率 9.7% (0.7ポイント改善)

基金・地方債現在高

- (1) 基金現在高 19億4,748万円
(1億4,590万円減少)
- (2) 地方債現在高 51億3,121万円
(498万円減少)

おもな質疑

Q&A

一般会計

歳出

◆議会費・総務費

◎コンビニ委託料

16万円

◎コンビニ交付運営負担金

35万円

◎証明書発行機能等利用料

25万円

◎保守委託料

182万円

Q 住民票、印鑑証明書のコンビニ交付が始まり令和5年度のコンビニ交付率は15・57%となっており、今後更なる利用が見込まれるが、委託料等は258万円ほど計上されている。利用者が増えた場合、窓口業務の効率化につながるが、委託料等更なる増加につながるのでは。



旧縫製センター(井神)



コンビニ交付機

A ご指摘の通り、メリットとしては窓口業務の効率化が図られるが、デメリットとしてコンビニ交付が増えればその分委託料等の支出が増えることになる。

◎旧縫製センターアスベスト調査業務委託 31万円

Q アスベスト調査の結果と今後の展望は。

A 一部アスベストが含まれている建物。今後はプロジェクトで検討。

◎周南市事務協力金

3603万円

Q この協力金は一般財源に充当か、また使用用途枠はあるか。

A 一般財源で、主に福祉関係に充当することにしており、広報誌で公表している。



オラレ田布施(浜城)

◎歳出予算の流用について

Q 田布施町監査委員より、流用に伴う予算補正の適正化について指摘されている。予算は議会の承認事項であり、流用はごく限られた軽微な事項や突発的な事項についてののみであり、正しい運用を。

A 流用は、予算の「目」以下の中で運用や予備費充当を認めている。ただし、財政規律をもつてあつたっているか、監査の指摘を踏まえ注意していきたい。

◆民生費

◎民生委員協議会

573万円

Q 現在1名の欠員が生じている。令和7年11月30日まで任期があるが、補充は考えているか。

A 欠員がある地元へお願いし当たっているとある。

◎こども食堂

Q 現在2つのこども食堂がある。こども食堂に補助はあるか。

A 立ち上げから2年間は県の補助がある。町からは施設使用料の免除。その他は、ボランティアや寄付などで運営されている。



たぶせみんなの食堂(三宅)

◎運転免許証自主返納支援事業

13万円

Q 自主返納された方には支援があるが、期限切れで返納された方にはない。今後期限切れの方も何等か支援をお願いする。

A 新しい地域公共交通に移行される計画であり、期限切れで返納された方への支援も合わせて検討したい。



運転卒業証

◆衛生費

◎がん検診事業

1202万円

◎検診率のアップを。

A 人間ドックや、かかりつけの病院で様々な面から検診される方も多く、検診率は上がっていないのが現状である。特定健診と併せて休日も含め回数を増やすなり受診率アップを考えていく。

◆労働費

◎柳井広域シルバー人材センター

305万円

Q 柳井広域シルバー人材センターの会員数が減少しているようだが。

A 会員数の減少は見られる。毎月広域で会員入会の説明会や、5年度では西田布施公民館で2回説明会を開いているが、町も支援に当たっている。

◎中小企業退職金共済掛金

26万円

Q 中小企業退職金共済制度の最近の動向は。

A 中小企業退職金共済制度は、従業員の福祉の増進と効用を図るため中小企業の振興に寄与するものであり、本町は補助している。動向は増加傾向にあり、商工会も普及啓発に取り組んでいるが、周知を図っていきたい。

◇農林水産費

◎有害鳥獣捕獲事業

39万円

Q イノシシの捕獲頭数が、令和4年度の221頭から、66頭へ激減しているが原因は。また、狩猟者数も減少傾向か。

A 他の市町も同様に減っている。これは令和4年から5年にかけて豚熱が蔓延した影響と考えられる。最近若い狩猟者も増えたが、リタイヤされる方も多く、横ばいである。

◎環境保全型農業直接支援対策事業

203万円

Q 環境保全効果の高い営農活動に取り組むとは、どういった内容か。

A 国が法制化した事業で、有機農業のJAS認証を受けられている方や、減農薬栽培

培など、環境に配慮した農業に取り組んでいる団体を支援。

◇商工費

◎のんびらんど・うましま委託管理費

39万円

Q 委託管理料・施設使用料・備品使用料の他に雑収入が、210万円余りある。他の委託管理事業のように、将来的には委託管理料をゼロで出来るようになるか。

A 委託料の規定通り運用し、その都度考えていきたい。



のんびらんど・うましま

◇土木費

◎田布施町近隣公園バスケットコート設置工事

227万円

◎田布施町近隣公園バスケットコート塗装工事

58万円

Q 昨年3×3のT A I K O C U P が行われ、今年もある。これは長く続けていただきたい。

A 大晃機械工業株式会社の協賛で、今年も開催。協賛をいただきながら、続けていきたい。



3×3 TAIKOCUP

◇学校教育費

◎奨学金基金積立金

Q 基金へは毎年千円の繰り入れ。奨学金条例に照らし、奨学生が卒業後、町内に居住して就業する期間の奨学金の償還について、申請による償還額の2分の1を減免するとある。このことをもっと周知し、田布施に残る若者を増やして欲しい。

A 奨学金については、本町のみならず、民間奨学金を優先で考えている。事前予約制を今年2月から行っており、減免も合わせてしっかり周知を図りたい。

◇社会教育費

◎町史編纂事業

322万円

Q 事務概要に資料の読み込み及び原稿執筆に遅れが生じたところがあるが、この要因は。

A 一昨年最初から編纂に携わっていた方が体調の都合で代わられ、引継ぎが遅れたことと、慣れるまで時間がかかり遅れている。

◇国民健康保険特別会計

◎特定健診受診率向上対策事業委託料

55万円

Q 受診率の向上の取組は。A 来年度へ向け、集団検診の開催日を、働かれている方への配慮として休日等にも拡大。現在導入の健康マイレージによる特定健診受診のポインタ付与などしっかり周知を図っていく。



たぶせ健康マイレージ

◎データヘルス計画策定委託料

55万円

Q 業者への委託ではなく、職員がきちんと把握し作成した方がよいのでは。

A 全額補助対象の項目であるシステムから分析は、時間、作業量など事務への負担が大きく、データ分析のみ業者へ委託。計画の作成は職員であたっている。

◇介護保険特別会計

◎認知症地域支援推進員委託料

72万円

Q 具体的な内容は。

A オレンジカフェの企画をボランティアさんと一緒に考え運営。その他に相談業務等は、町に相談いただき、その後支援員と共に訪問、支援を行っている。

◇下水道事業会計

◎田布施川流域下水道負担金

1億579万円

Q 田布施町と平生町の維持管理負担金の按分方法は。

A 流量に応じて負担金を算出している。

9月定例会
一般質問

8人の議員が町政の課題を問う

人口増と景観形成のため

緑化推進を

神田 栄治

植樹帯を新設する路線の予定なし

東 町長



神田 栄治 議員

Q 町の緑化推進については令和3年12月議会において質問し、緑化が人口増加に効果があった3つの事例を示し提言。町では、植樹帯を新たに設置する路線、廃止する路線、現状のまま維持管理する路線を

A 前回の一般質問で、町の緑化が人口増に寄与する旨の提言を受けた。ただ、現在植樹帯を新設する路線の予定はない。また、前回の答弁で緑化できる可能性があるエリアとして考えていた中学校周辺は防犯上の理由から現状のまま

検討しているとの回答。約3年が経過したが、進捗状況を教えていただきたい。



田布施町の街路



緑化された街路(横浜市)

県内市町ふるさと納税額
ランキング(令和5年度)
(単位:万円)

	市 町	ふるさと納税額	返礼品数
1	下関市	167,559	1,895
2	長門市	59,625	1,015
3	山口市	50,795	519
4	岩国市	50,207	259
5	宇部市	16,220	181
6	萩市	16,109	1,085
7	周南市	15,391	169
8	山陽小野田市	12,015	117
9	和木町	10,680	496
10	柳井市	8,956	
11	美祢市	7,853	42
12	防府市	7,554	237
13	周防大島町	3,408	148
14	田布施町	3,323	125
15	上関町	3,017	39
16	光市	2,154	148
17	平生町	1,807	70
18	下松市	942	156
19	阿武町	427	46

【出典】ふるさと納税額:総務省HP 返礼品数:各市町HP
※ふるさと納税額は、一般企業寄附金も含まれています。

Q ふるさと納税制度の寄附総額は、令和5年度1兆1175億円になった。歳入増のため、ふるさと納税額の増収に取り組み意義は大きい。①町のふるさと納税額の推移と返礼品数②現在の返礼品に当町の野菜や米が足りないが如何か③返礼品増加に向け、どう取り組んできたか。今後は。

A ①元年度1821万円、2年度5606万円、3年度5308万円、4年度4120万円、5年度3323万円。返礼品数6年度152品。②野菜は、日持ち等で対応できる業者が限られる。米は需要が多いため返礼品としての取り扱いは停止。③経費率の基準の厳格化への対応を図る。

ルール厳格化への対応を図る 町 長

返礼品の大幅増を

神 田

ふるさと納税

一般質問

一般質問は、町政全般について、町長など執行機関の考え方や方針を問いただすものです。ここでは紙面の都合上、質疑の中から内容の一部要旨を掲載しています。

介護保険料・国保税

県内での料金水準は

内山 昌晃

県内最低水準

東 町長



内山 昌晃 議員

Q ①本町の介護保険料は県内最低料金と聞く。国保税はR4年度に税額の引き下げ、本年度は平等割額を引き下げた。本町の国保税の県内水準は。②他市町と比較し低料金となった要因は。③介護・国保保険給付費の今年度の見通しは。④国保税の子どもの均等割軽減、産前産後軽減の状況は。

県内の介護保険料 第9期第1号保険料(保険者別)

保険者名	第8期保険料 基準額(月額)	第9期保険料 基準額(月額)	保険料基準額の 伸び率	(参考) 要介護認定率
下関市	5,500	5,500	0.0%	21.3%
宇部市	5,980	6,200	3.7%	20.2%
山口市	5,050	5,510	9.1%	19.5%
萩市	4,550	4,970	9.2%	18.4%
防府市	5,779	5,905	2.2%	17.5%
下松市	6,100	6,100	0.0%	19.1%
岩国市	5,800	5,800	0.0%	20.0%
光市	5,421	5,508	1.6%	17.6%
長門市	4,990	5,200	4.2%	19.6%
柳井市	5,100	4,100	0.0%	18.0%
美祢市	5,840	5,690	-2.6%	18.6%
周南市	4,960	4,960	0.0%	15.4%
山陽小野田市	5,500	5,500	0.0%	18.1%
周防大島町	5,550	5,650	1.8%	23.0%
和木町	5,000	5,300	6.0%	16.2%
上関町	5,500	5,800	5.5%	21.5%
田布施町	4,667	4,921	5.4%	17.5%
平生町	5,260	5,050	-4.0%	17.0%
阿武町	5,850	5,950	1.7%	22.1%

厚生労働省より

Q 県内自治体の外郭団体では1億5千万円を超える公金を着服した疑いがあると報じられた。本町の外郭団体の公金管理は適正か。また、外郭団体への補助金等の交付の公正の確保と適正化を図るための「田布施町補助金等適正化条例」の運用状況を尋ねる。

A 町や町教委が事務局の団体の通帳は109。通帳残高は毎年度企画財政課で調査し、高、決裁、監査の状況を確認。通帳と印鑑の管理も引き続き徹底する。今秋に「補助金適正化チェック」を行う。過去3年間の実績額と決算余剰金を整理、担当課から運用状況を聞き取り、効果等を検証。

A ①介護保険料は県内最安。国保税標準世帯で県内最安。②高齢者一人あたりの介護費用が少ない(介護、医療費水準が低く計画的に基金繰入(国保)③昨年度と比較し約8千万円増(介護)、概ね予算どおり(国保)の見込。④子ども均等割軽減は25世帯36人、産前産後軽減は5人適用。

国民健康保険税 減免・軽減

◇申請が必要なもの

- ・産前産後期間における軽減
出産予定日または出産の属する月の前月から4か月間、国民健康保険税の所得割額及び均等割額の一部が軽減。
- ・旧被扶養者の減免
75歳以上の人が被用者保険から後期高齢者保健に移行することによりその人の被扶養者で65歳～74歳の人(旧被扶養者)が新たに国保に加入する場合は、所得割や均等割額等の一部が減免
- ・非自発的失業者の軽減
解雇等の非自発的な失業者に対して、一定の条件を満たす人には所得割等を軽減

◇申請が不要なもの

- ・子ども(未就学児)の均等割額軽減
未就学児(満6歳到達後最初の3月31日を迎えるまで)の均等割額を軽減
- ・所得状況に応じた均等割額・平等割額の軽減
7割、5割、2割軽減
- ・後期高齢者医療保険への移行に伴う軽減
75歳以上の人が後期高齢者医療保険に移行したことにより、国保の被保険者が1人になる場合(特定世帯)5年間は平等割額が軽減

町ホームページより ※詳細は健康保険課まで

外郭団体の公金管理

適正か

内 山

引き続き適正に管理する 町 長

田布施町補助金適正化条例(抜粋)

(目 的)

第1条 この条例は、補助金等の交付申請及び交付決定に関する事項並びに補助金等の見直しに関する基本的事項を定めることにより、補助金等の交付の公正の確保及び適正化を図ることを目的とする。

(補助金の定期的な見直し)

第9条 町長は主要な補助事業等については、3年ごとに補助金等の交付の目的及び効果を測定し、補助金等の見直しを行うものとする。

(補助事業等の評価及び公表)

第11条 町長は、第9条の規定にかかわらず、毎年度、補助事業等の評価を実施し、補助金等の交付の適正化を図るものとする。

2 町長は、前項の評価の結果を公表するものとする。

税と社会保障費

年収による負担率を問う

松田 規久夫

定額減税、各種給付金で微減

東 町長



松田 規久夫 議員

の給与所得者として算出。税負担の固定資産税は減、所得税・個人住民税は微増。社会保障負担は、国民健康保険税は減額、国民年金保険料増で増額となる。

Q 子どもを持つっている友人を見てうらやましいと思う。自分もそうなりたいと思う。この思いが無ければ結婚したり、子どもを持ちたらない。結婚し子どもを持つ友人を見て、その生活が苦しそうなら、独身や子どもを持たない選択をする。給与の手取りは減少している、負担率は。

A 町民の税と社会保障費の負担率の条件は昨年と同様に、標準世帯で国民健康保険加入

標準世帯モデルケース

年度	年収 300万円	500万円	700万円
2013 (H25)	27.7%	24.4%	23.9%
2018 (H30)	27.6%	25.0%	24.5%
2023 (R5)	26.8%	24.2%	23.8%
2024 (R6)	25.2% (27.2%)	22.0% (24.4%)	21.6% (23.9%)

年収別町民負担率(参考)

75歳の高齢者1人世帯

年度	年収 110万円	200万円
2023 (R5)	4.0%	10.3%
2024 (R6)	3.8% (4.2%)	9.4% (10.7%)

年収別町民負担率(参考)

※()内の数字は定額減税や各種給付制度なし

児童・生徒の就学支援

先駆けてヘルメットの支援は

松 田

財政的に難しい

町 長

教育委員会は考えていない

鳥枝 教育長

Q 小・中学校の給食費は、義務教育であり無償化が望まれる。中学校ではブレザーの制服が導入されたが、入学支援金の見直しは。ヘルメット着用が道路交通法で努力義務となった。小学3年生の運転許可取得児童に、ヘルメット代金を他の市町に先駆けての支援は。

A 無償化は臨時交付金で実施。来年度の交付金が無ければ無償化は財政上困難。就学援助費目の支給額等、毎年度、国の示す基準額を踏まえ更新



帽子型ヘルメット

し、町独自で新たな援助費目を追加支援することはない。教育委員会ではヘルメット購入経費の支援は考えていない。

災害時の緊急避難場所

とりあえず逃げる場所指定を 松田

東地区の指定は考えていない

町長

Q 災害時の避難所として1次、2次、福祉避難所は指定されている。田布施川北側の旧市街地は標高が低い。大規模な水害時、津波の緊急避難として、場所の指定が必要。町営高層住宅、大内公園、役場の近隣公園などが候補。海岸に接するエリアも津波対策として指定が必要。

A 特別な配慮を要する住民の避難所は、町の重要な課題であると認識している。駅から東田布施にかけての洪水時の浸水エリアは、浸水深が浅い。緊急避難場所としての指定は考えていない。住民が安全に避難できる環境を整えることは、最も重要な責務である。

地方創生総合戦略

若者向け住宅の建設を

西本 篤史

次は長田住宅の建て替え

東 町長



西本 篤史 議員

やし、若者向けの洒落た町営住宅を建設し移住者を増やしてはどうか。

Q 先日の地方創生検討委員会の産業雇用振興、移住定住促進、少子化・子育て支援など話し合われたが内容はどうか。人口対策で北海道南幌町が移住全国1位と聞いたが参考にしないか。町も住宅地を増やさない。

A 人口目標、実際には令和5年度末の年少人口は1334人と既に大幅減となっている。住みやすく皆が仲良く楽しく暮らしていく風景を作っていくことが、本町にとって人口問題の改善に向けて大切。次は町営の長田住宅の建て替えを予定。時期や内容は決まっていない。



北海道南幌町HPより

高齢者健康寿命促進

いきいきポイント事業を

西 本

ポイント制度を拡大 町 長

Q 町民の皆さんが健康で元気であれば、町の医療費負担、介護保険料も減るのでは。隣の広島県では「高齢者いきいきポイント事業」で、健康寿命促進を行っている。指定の事業に参加すればポイントが付与され、貯まれば奨励金が支給される。町もフレイル予防の為に取入れたい。

A 町は介護保険料が県内で最も安い、みなさま方の常日頃からの健康づくり、介護予防への意識の高さが医療費や介

護保険料の低減につながっている。町ではすでに「介護予防ボランティアポイント制度」を実施している。ポイント付与の対象範囲については、今後、意見を聞いて拡大を図る。

田布施町

介護予防
ボランティア

ポイント手帳

田布施町健康保険課

氏名

ポイント手帳登録者数
10月15日現在40名

上関中間貯蔵施設

1年後の考えは

西 本

何ら変わりはない

町 長

Q 6月に建設反対署名約3千360筆が議長に提出された。隣の光市長は、「仮に計画が前に進んだ場合、本市の町に対するイメージの悪影響を懸念しているところであり本市にとって一つのリスク要因。」など発言。中間貯蔵施設建設調査発表から1年経った。町長の考えは。

A 私の考えは、この問題が明らかになった最初の昨年9月議会、複数の議員から質問をいただき、答弁をしたが、私の考えは現時点でも何ら変わっていない。本町を含めた周辺地域のイメージ低下は少なからず避けられないものと思っている。

中間貯蔵施設に関する町長の答弁（令和5年9月議会）
「本町は、温暖な気候と瀬戸内海に面した豊かな自然という住みやすい環境に恵まれており、そうした中で、これまで将来世代の視点にも立ち、安心して結婚、出産、子育てできる環境づくりに積極的に取り組んでまいりました。これからも継続してそうした取組を進めていく中で、仮に、中間貯蔵施設が上関町に建設されることになれば、本町のそうした将来にわたっての「まちづくり」や「移住・定住」に向けた努力に対して大きな影響を与えるものだと思います。」

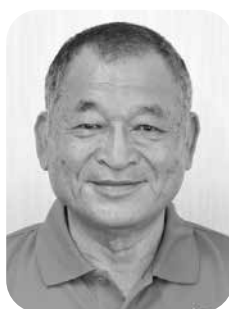
埋蔵文化財の学術的評価

保存と次世代への継承を

國本 悦郎

巡回展の公開と併せて愛好家等の育成

鳥枝 教育長



國本 悦郎 議員

石器」と題して講演会を開催
③校舎への保管期間は関係部
局と協議し、公開は企画展等
を開催④県の埋蔵文化センタ
ーと連携し、巡回展と併せて
愛好家も育成⑤掲示するよう
検討⑥令和8年度中には発刊

Q ①案内板の設置個所の見直しや修復、ルートマップの作成は②郷土館長と学芸員の連携は③旧麻里府小に保管してある出土品の保存と公開は④生涯学習の中に埋蔵文化財の保存と活用を位置付け、アマチュア愛好家の育成を⑤郷土館に遺跡地図の掲示を⑥遅延している発掘調査の報告書は。

A ①早い時期に教委で修復し、地権者の了解を得ながら複数のルートを作成②「田布施の



駐車場にある古墳などの案内看板(川西)

埋蔵文化財関連の観光資源化

「古墳の町 田布施」のアピールを

國本

町制70周年では
しっかりと取り組む 東 町長



駅の敷石には後井古墳

Q ①駅前の郷土館の案内板の位置に「古墳の町田布施」の看板を②観光協会とタイアップした埋蔵文化財の観光資源としての活用策は③大きな観光資源となる田んぼアートの取組は④「田布施検定」の取組は⑤山口県古墳ネットワークに参加し、主体的に古墳巡りの開催を。

A ①そういった案を参考にし
て検討②郷土館の来館を呼び
掛ける等、観光協会と連携③
田んぼアートの作成者とも相
談し、来年は町制70周年とな
るので、町のPRに活用④観
光協会での歴史に興味を持
ってもらえるよう作成中⑤古
墳に限らず、広域で観光名所
巡りを立案。

認知症対策

住民に周知を

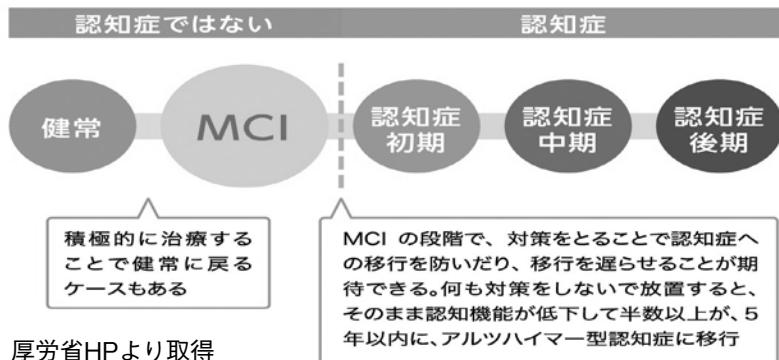
國本

まずは

MCIの啓発

町長

Q ①若年性認知症とMCI(軽度認知障害)の窓口と認知度は②町民にあまり認知されていない認知症地域支援推進員の周知は③住み慣れた地域で尊厳を持って暮らしていくための具体的な取組は④避難所で認知症の方をケアできる体制は⑤9月のアルツハイマー月間の取組は。



厚労省HPより取得

A ①前者は健康保険課と町民福祉課で、後者は健康保険課となっているが、認知度は低い②町民への周知をサロン等で図る③町内3地区で互いに助け合う協議体を組織し、熊毛3町で、医療・介護従事者との認識の共有④福祉避難所には保健師を常駐⑤認知症サポーター養成講座を実施予定。



町内商業地域



瀬石 公夫 議員

人生百年をささえる対策を

大好きな「まち」は消滅するかも

瀬石 公夫

AIや機械を活用し取り組む

東 町長

Q 人口減少により、地域経済や地域の利便性は低下し、大好きな田布施町は消滅するかもしれません。人生百年をささえる人づくり・地域づくり・健康づくりにより、町民の暮らしを守る対策を。また、農業・漁業・商業・工業の活性化と誘致をすすめ、経済を力強くし、働く場を。

A 人口減少が課題で、少ない人数でこれまでの地域での生活を維持・発展させようとする、AIや機械の活用等新たな技術を使いこなし、行政、民間、住民が一体となつて取り組む必要がある。企業や空き店舗の立地を促進する奨励措置等を講じ、農業では規模拡大や企業参入を後押しする。

学校給食費の無償化

来年度も継続実施を

瀬 石

財政見通しに注意を払い検討

町 長



給食センターでの調理の様子

Q 学校給食費を無償化している自治体が全国で3割あり、無償化する動きが広がっている。本町では、物価高騰対策として、影響を大きく受けている小中学校の保護者の負担軽減のため、令和6年度の給食費を無償化した。物価上昇の長期化等により来年度も給食費の無償化を継続しては。

A 学校給食の無償化については、最初に令和4年度11月から3月まで実施し、令和6年度は、すでに4月から実施している。異次元の子育て支援対策の中で、国が責任を持つて取り組むべきと思うが、いづれにしても重要な課題であるので、財政見通しに最大の注意を払い検討する。



たぶせ避難訓練in城南 バケツリレー



高月 義夫

田布施町地域防災計画

防災の普及啓発を

町民の防災力向上に努める

高月 義夫

東 町長

Q 5月に地域防災計画が改訂。その中の災害予防計画には、職員を始め各種団体及び町民への防災に対する普及啓発を強く求めている。災害において自らの命と財産を守ることが最優先。過去の大規模災害に関する各種文献資料など収集整理保存し、その教訓を町民へ公開し、防災の啓発を。

A 各種研修等積極的に受講させている。その他災害対応にドローン免許資格者研修にも参加させ、町民へは防災訓練や出前講座など実施。町の防災力の底上げを図っている。今後、過去の大災害の膨大な資料を整理保存し、誰もが見れるデジタル・アーカイブ化に取り組む必要があると感じる。

学校安全教育

具体的な取組は

高 月

生きた防災教育をめざす

鳥枝 教育長

Q 学校では、国の第3次学校安全の推進に関する計画に沿って、学校安全を図っていると思う。教職員の研修や子どもが危険を予測し回避する能力を育成する取組など尋ねる。更に今年度から始まった児童生徒ふれあい活動における防災への取組の成果や、今後の展開について問う。

A 学校安全にかかる年間指導計画等を毎年作成。取組の見直し・改善を行っている。また、児童生徒が通学路の安全を点検、安全マップを作成。「児童生徒ふれあい活動」の防災学習では、能登半島の被災地とオンラインで繋ぎ、災害の困難さや苦難を学んだ。今後も生きた防災教育をめざす。

児童生徒ふれあい活動
非常食試食風景

児童生徒ふれあい活動とは
今年度から、町内の小中学生が学校の枠を越えて会し、交流しながら体験や活動を通して学ぶ機会を新たに設けて実施する活動。

地震・津波と高潮

南海トラフをどう考える

落合 祥二

経験したことのない災害

東 町長



落合 祥二 議員

【Q】29年前の阪神・淡路大震災。13年前の東日本大震災。8年前の熊本地震。今年になって能登半島地震。日向灘地震。南海トラフ地震臨時情報の発表。これらを踏まえ尋ねる。

①南海トラフ地震・津波対策を、どのように考えているか。

②再作成予定の津波・高潮ハザードマップはいつできるか。

【A】①マグニチュード8から9クラスで、今後30年以内に発生する確率が70%から80%で切迫しており、これまで経験したことのない災害になることを踏まえ、最悪の被害を念頭に置いている。南海トラフ地震防災対策推進計画を町地域防災計画に掲載している。

②今年度末を予定している。

【Q】本町へ移住を希望する人に情報提供する「空き家バンク制度」について尋ねる。

①登録が少ないが、どうか。

②相談窓口は経済課と建設課だが、連携は取れているか。

③町内不動産業者の2割しか協定を結んでいないがどうか。

④空き家対策は、スムーズにいつているか。

【A】①平成19年から26件の登録。全国の自治体も少ない状況。

②両課で連携を図っている。

③協定を結んでいない業者に再度確認を取ってみる。

④対応可能な対策に取り組んでいる。現在、専門的な相談や優良物件の掘り起こしが行える「空き家コンシェルジュ」の任命を計画している。

空き家コンシェルジュを計画

町 長

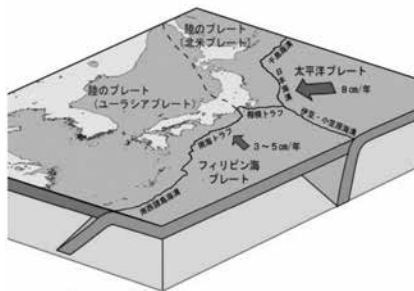
空き家バンク制度

スムーズにいつているか

落 合

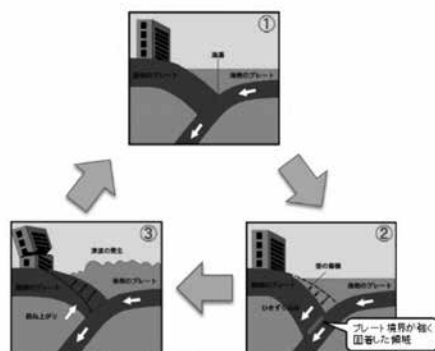
南海トラフ地震とは

駿河湾から遠州灘、熊野灘、紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する区域を「南海トラフ」といいます。



日本付近のプレートの模式図

この南海トラフ沿いのプレート境界では、①海側のプレート（フィリピン海プレート）が陸側のプレート（ユーラシアプレート）の下に1年あたり数cmの速度で沈み込んでいます。②その際、プレートの境界が強く固着して、陸側のプレートが地下に引きずり込まれ、ひずみが蓄積されます。③陸側のプレートが引きずり込みに耐えられなくなり、限界に達して跳ね上がることで発生する地震が「南海トラフ地震」です。①→②→③の状態が繰り返されるため、南海トラフ地震は繰り返し発生します。



南海トラフ地震の発生メカニズムの概念図

出典：気象庁

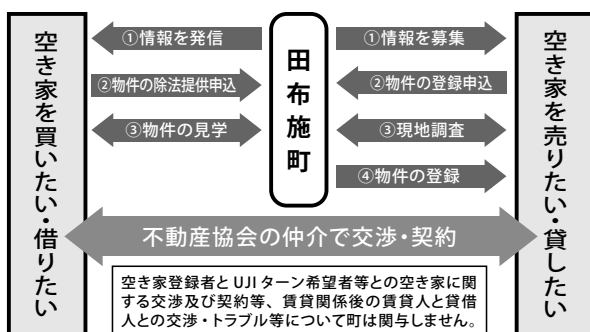
南海トラフ巨大地震における想定

市 町	地震動 震 度	代表地点	津 波	
			最高津波 水位 (T.P.m)	最高津波水位 到着地点 (分)
田布施町	6 弱	尾津漁港	3.4	124
柳井市	6 強※	柳井港	3.8	174
平生町	6 弱	平生港	3.8	128
上関町	6 弱	室津港	3.6	128
周防大島町	6 弱	小松港	3.7	173
光 市	5 強	光漁港	3.6	116

※柳井市の6強は平郡島のみ。平郡島以外の最大は6弱。

出典：山口県

田布施町空き家バンク制度



出典：田布施町

議会だより162号を読んで

◆お礼◆
議会広報広聴モニターの皆様にはご多忙な中にもかかわらず、
毎号貴重なご意見やご感想をいただき厚くお礼申し上げます。

◇消滅可能性自治体

松尾 正則

消滅可能性自治体に田布施町が入り、現実味があると認めてしまう。笑い話で話題になったが、私の所属する自治会では、先日一軒お亡くなりになり消滅した。どんな世帯数が減り、28軒となり、単身世帯も半数の14軒。子どもは0！高齢世帯が大半で、10年20年の間には消滅してしまいそう！現自治会も、自治会長を数人の人で3回・4回と役を受けてきたが、もう限界にきている。数年で解散せざるをえない。町内の70余の自治会も同様な所が多数あるのでは？もう現実問題である。自治会の再編成。また、学区もなくなり、東田布施、西田布施、麻郷、麻里府、城南地区の区割も大小ありすぎて、再編成を検討しなくてはならないのでは？これまでの地区行事、催し等課題はあるけど、国や県の行政の指示待ち以前、当面の問題解決を検討していただきたい。

◇議会だよりで知った

田中 清美

先日、初の高齢者講習を受講しました。免許証返納まで何年運転できるのか、その時からどんな生活が始まるのか、年を重ねて色々と考えさせられました。

議会だよりの1ページに、予約型定額乗合タクシーの概要（予定）が目に入りました。コンパクトミニバンを2台購入して、町内を平日午前9時から午後4時まで全ての町民を対象に、北と南の地域に分かれて、あらゆる所を運行する実証実験をして改善を加えながら本格運行となるようです。これが始まれば、免許証返納後の私でも利用できそうです、少し安心しました。

これからも、この田布施町が、どんな人達とも仲良く支えあって暮らせる優しい共助の町になっていけるように、議員のみなさん達の活躍を期待して読ませていただきます。表紙のQRコードで見るカラー写真も楽しみの一つです。

◇声を聞き声を届ける

相本 一生

消滅可能性自治体。

この言葉を聞いた時まさか我が町がその中に入っているとは思いませんでした。

6月の定例会一般質問で今後の対応を問うていますが、町からは具体的な答えがなかったのが心配です。

しかしこのことについて町に全てを任せるといふわけではありませんが、人口減少や少子化問題などはそこに住む住民の声を聞き、みんなで対話することも大事ではないかと思えます。

また、たぶせ桜まつりのことも書かれていましたが、近年は桜まつりロードレースもなくなり以前に比べ少し活気がなくなつた気がします。これは予算等の問題もあるのでしょうか、祭りを楽しみにしている町民の声も聞きそれを反映させることも大事かと思えます。

なかなか町民の声を町に聞いてもらう機会は少ないかと思えますが、その声を届けてもらえるよう議員さんの活躍にも期待したいです。

◇議会だよりを読んで

坂本 洋子

本日に議会だより、頑張つて作っておられると思います。予約型定額乗合タクシーが始まるのが楽しみです。

料金も安いし、ありがたいです。車に乗らなくなつたら、是非使いたいと思います。

のんびらんど馬島で、キッズチャレンジショップ、大盛況で良かったですね。

私は、幼少の頃、自治会の子供会で、馬島へ海水浴に行つた思い出があります。あの頃、まだ水道が通ってなくて、洗面器一杯の水が、たしか百円もして、驚きました。

田布施中学校の入学式に、5名の方が出席されたところ、私の子どもが通つた小学校では、議員さんが、ほぼ全員出席されていました。卒業式も。生徒さんも、保護者の方も、議員さんにお目にかかれて親近感がわくと思えますよ！

是非、皆さんで行かれてみてはどうでしょうか？

◇のぞむこと

山本 容子

議会だよりを読んで感じたことは、質疑応答の紙面が、もっとわかりやすい形式だといふということです。

一つの案件に対して複数の質疑がある場合、質疑文に数字が記載されていますが、回答の参照が容易ではありません。各々の質疑に呼応して、一目で回答内容が判るようなレイアウトにしたいだけだと読み易いと思います。

定例会で、予約型定額乗合タクシーについての質疑がありました。この事業は令和6年度に開始され、半年ぐらいは改善を加え、本格運行となるようです。

車が無いと、とても不便な町です。町民の足となる町内を巡るバスが無いので、この事にとっても期待しています。

全ての町民が対象となるので、多くの人が利用して、長期に渡って継続される事業になりますようにと思います。



広聴モニター 懇話会

7月25日(木)、議会広報広聴モニター懇話会が開催されました。モニターは、町内5地域から、それぞれ2名の方をお願いしています。いただいたご意見を、今後の広報づくりに生かしてまいりたいと思います。

県町議会 広報研修会

8月20日(火)、山口市のセントコア山口で開催された、町議会広報研修会に参加しました。研修内容は「そろそろ化けませんか!」創意・工夫の取り組みに学ぶ」で、講師は、議会広報ファシリテーター、熊本大学客員教授の越地真一郎氏でした。

県内6町の議会広報を相互に講評し、また、各町の議員とともに「読まれる議会だより」をつくるにはどのようにすべきかをテーマに「町広報との差別化」、「編集委員会の権限」、「企画・編集の充実」、「デジタル化の推進」、「大幅刷新の具体策」、「住民目線の反映」、「外部パワーの活用」、「事務局のサポート」の8項目について深く掘り下げ協議しました。

この研修を糧として、町民の皆さまに読まれる・伝わる議会広報を目指す。

指し、広報委員一同決意を新たにしました。



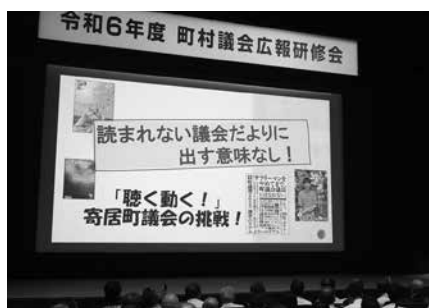
町村議会 広報研修会

9月25日(水)、東京都のニッショーホールで行われた町村議会広報研修会に参加しました。講演内容は次の3つの「演題」と(講師)でした。「読まれる議会広報紙の作り方」(中本正樹氏)、「パッと伝わる広報紙に! やってはいけないデザイン講座」(平本久美子氏)、「読まれる議会

会だよりに出す意味なし!」聴く・動く寄居町議会の挑戦」(鈴木詠子氏)。

どれも田布施町議会では、ハードルが高く、議会だよりの編集だけでなく、併せて議会改革を進めないとクリアできないような内容でした。

特に、全国広報紙コンクールで連続全国一を受賞している寄居町議会からの報告は、町民の声を包み隠さず紙面に反映することを貫いており、田布施町議会も目指すは「全国一」で議員の共通理解を図るべきだと痛感しました。



議員の活動報告(7月~9月)

7月2日 山口県議会7月定例会(議長)
山口県離島振興市町議会議長会令和6年度第1回臨時会(議長)
3~5日 山口県離島振興市町議会議長会視察(議長)
4日 山口県及び山口河川国道事務所への要望活動(副議長)
11日 中国地方整備局への要望活動(議長)
16日 熊毛郡議会広報連絡協議会第29回定期総会(高月・河内)
18日 令和6年柳井地域広域水道企業団議会第1回臨時会(落合)
19日 戦没者追悼式(議長)
23日 令和6年第2回田布施・平生水道企業団議会定例会(國本・落合・内山)

25日 議会広報広聴モニター懇話会(議長・高月・河内・谷村・内山)
29日 2024年国民平和前行進(副議長)
8月1日 熊毛郡町議会議長会定例会(議長)
20日 令和6年度山口県町議会広報研修会(高月・河内・谷村・國本・内山)
22日 柳井地区広域市町議会議長会協議(議長・副議長)
9月24日 令和6年第3回光地区消防組合議会臨時会(落合)
25日 令和6年度町村議会広報研修会(高月・國本・内山)
27日 令和6年度柳井地域広域水道企業団議会第2回臨時会(落合)
28日 第26回たぶせスポーツまつり(議長)

議員リレー随筆

母校熊毛南が無くなる



河内 賀寿

我が母校熊毛南高校が数年後無くなる。悲しい限りだ。祖母、母親、私と熊毛南卒の流れも終了だ。入学式の時の、母の「この自転車置き場は昔の講堂よ」の言葉。卒業式の

時の「動員学徒戦没之碑」と記念写真を撮ろう」の言葉。元気な頃の母の笑顔が懐かしい。
光海軍工廠爆撃で戦没された熊毛高女22人は、母の仲間だった。母は熊毛南の校舎での部品製造の班に途中から配属が変更になり助かったと言っていた。ちなみに、校舎に陸軍の部隊が駐屯しており、食事の世話もしたとのこと。さて、母が存命なら廃校をどう言うかな。

動く広告塔



國本 悦郎

今の観光協会の前の会長の時代から、他の市町村と同様に、観光協会が町をアピールしようとポロシャツやTシャツを作ってきている。
今は、夏用の半袖だけ

だが、以前は長袖やウィンドブレーカーも作っていたから、季節に合わせて着ていたもんだ。
今夏、ショートクルーズで旅に出たが、その時にもこのポロシャツを荷の中に入れたのは勿論だ。田布施が小さくローマ字で「tabuse」となっていて、気付かない人が多かったのが残念。私がこれを着て出るのは主に町外で、動く広告塔を自認し活用している。

応募方法

ハガキに①答え②郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。

●宛先 〒742-1592

山口県熊毛郡田布施町
大字下田布施3440-1

田布施町議会事務局 宛

●応募締め切り 令和6年11月29日(金)

●Eメールからもご応募できます

gikaijimukyoku@town.tabuse.
yamaguchi.jp

正解の中から抽選で3名様に千円分の図書カードをお送りします。

なお、正解者の発表は発送をもってかえさせていただきます。ご了承ください。

※前号の正解は 問1 ③6月1日
問2 ①2台 でした。

ヒント

答えは、議会だよりの文章の中に書かれていますよ。探してみてください！



問2

3×3TAKOCUPが行われたバスケットコートはどこにあるでしょうか。

- ① 23・1 %
② 33・1 %
③ 43・1 %



問1

令和5年度田布施町一般会計決算の歳入で、町税の割合は何%でしょうか。

発見！クイズたぶせ？

三択クイズです。2問お答えください。

編集後記

議会だより創刊より40年が経過。多くの先輩広報委員の汗と弛まぬ努力に、尊敬の念に堪えません。過去には全国最優秀表彰も。表紙の「議会だより」の文字は、岸信介先生より揮毫頂いたものである。

議会だよりの原点「町民の皆さんの議会に対する理解と町政への認識を深める使命」。更に議会広報聴モニターさんから多く頂くご意見、見やすく分かりやすい紙面へと、カラー化も含め変革の時と感じる。今の時代に合う議会だよりへと、町民の皆様のご意見を頂きながら、広報委員一丸となり取り組む所存である。

(高月)

議会広報委員会
委員長 高月 義夫
副委員長 河内 賀寿
委員 谷村 善彦
委員 國本 悦郎
委員 内山 昌晃
委員 落合 祥二

